

2009年3月11日

鷗朋会 第49回理事会 議事録

- 日 時：2月3日（火）18：00－20：00
- 場 所：たかつガーデン
- 出席者：外山嵩，長尾修，岡本英昭，城野隆史，増田征二，小幡良男，杉山和雄，
定兼廣行，西田正孝，奥野武俊，岩崎泰典，池田良穂，藤原利弘，
三宅成司郎，池田和外，有馬正和，山田智貴，坪郷尚，片山徹，中谷直樹，
新井励，桂木哲雄（以上22名 敬省略）
- 資 料：第49回理事会議事次第

1. 開会挨拶(片山理事)
2. 会長挨拶(定兼会長)
奥野学内理事の母校理事長・学長選任の報告，議案の活発な協議の依頼。
3. 議長選出
岩崎副会長の選出．議長発案により各理事の自己紹介。
4. 議事
 - (1) 報告事項
 - a) 平成20年度会計中間報告
山田理事より平成20年度の会計中間報告があり承認された。
 - b) 編集委員会報告
三宅編集委員長より以下の報告があり承認された。
 - 奥野理事が来年度より大阪府立大学理事長・学長に就任する予定である．奥野理事に対する激励の意味も込めて、先日リーガロイヤルホテルにおいて実施された17期の同窓会の内容を記事にして欲しいと西田理事に依頼。
 - 鷗朋14号は例年3月末日発刊予定であるが、内容が奥野理事の学長就任特別号となるため発刊は就任後の4月1日とする。
 - 鷗朋の表紙絵が不足してきたため、再度収集することを検討しているがどなたか絵を書かれる同窓生を紹介して頂きたいとの報告。
大学1期の池島彊様に絵心があるので相談してみたらどうか、とのご提案あり．事務局を通じて、コンタクトしてみる。
 - c) その他
増田理事より大学10期の須藤邦彦様が藍綬褒章受章との報告。

(2) 協議事項

a) 平成 21 年度会計予算に関する件

山田理事より平成 21 年度の予算計画(案)が提案され承認された。

b) 府大コミュニティ・学友会設立に関する件

現在実質的にほとんど機能をしていない全学同窓会を新設する大阪府大学友会に移行するとともに各学部・学科、地域同窓会、部活・サークル同窓会等も学友会の内部組織として連携することを大学から提案されている。主な目的は本学卒業生の名簿管理から卒業生への各種情報提供であると池田理事より説明があった。この協議事項に対し以下のような議論がなされた。

- 今回初めて聞く話であるが随分話が進んでいるように感じる。その必要性はどこにあるのか

→大学および全学同窓会として卒業生の名簿を作りたいと考え議論を進めてきたが、各分野の同窓会の協力がなければ実現できないといった結論に至った(池田理事)

→その結果同窓会を新たに学友会としてまとめる経緯になった。

- アメリカでは寄付金を集めるのが目的で良くあるが、学友会の目的・OB に対するサービスが現時点ではわかりにくい。
 - 終身会費 20000 円ほどの段階(入学段階)で集めるのか。
 - 卒業生からどのように会費を集めるのか。
 - 個人情報学友会と共有するにあたり、卒業生への同意はどのようにとるのか。
 - 新入生は全員強制的に加入させるのか
- 上記課題は確かに重要な課題であり、その他にもクリアすべき課題は多いと想定される。現在提案されている会則(配布資料)はあくまでも決定事項ではなく案であるため詳細は今後決定していくものと池田理事より説明があった。

5. 閉会挨拶 (片山理事) と奥野理事ご挨拶

以上 文責 新井 励

第 49 回理事会後の編集予定の変更について（おことわり）

会長 定兼廣行

今回の理事会後、奥野先生の学長選任のお知らせと学友会(仮称)設立・ネットワーク構築の議案（協議事項(b)）は賜朋会と会員にとって大きなニュースであり、速報を要すると判断するに至りました。そこで、両記事に絞ってこれらをニューズレターで取り急ぎお知らせするのが順当であり周知を図りやすいと考えました。理事会で報告・協議の内容と異なるのは次の2点です。

- （1）賜朋 14 号発行に先立ってニューズレターを別途発行する。
- （2）上の（1）に伴う予算額や賜朋 14 号紙面構成などの変更。

理事各位におかれましては、先に述べました理由により、編集予定等が理事会で報告・協議の内容と異なりますことをお詫びすると共にどうぞご理解くださいますようお願いいたします。